

◎イノバン注シリンジ [注]

【重要度】 【一般製剤名】ドパミン塩酸塩 (U) Dopamine Hydrochloride 【分類】急性循環不全改善剤

【単位】◎0.3%シリンジ (50mL), ○0.6%シリンジ (50mL)

【常用量】1~5 μ g/kg/min [最大20 μ g/kg/min]

【用法】持続静脈内投与

【透析患者への投与方法】常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量 (5)

【特徴】心収縮力増強作用, 腎血流増加作用, 血圧上昇作用を示す. 心臓刺激作用と末梢血管収縮作用の両方が必要な場面で限定的に使用.

【主な副作用・毒性】頻脈, 不整脈, 末梢虚血, 嘔気, 嘔吐, 腹部膨満, 麻痺性イレウス, 静脈炎など. 血管外へ漏れた場合に硬結・壊死

【モニターすべき項目】血圧, ECG, 尿量, 心拍出量, 中心静脈圧, 肺動脈圧, 肺動脈楔入圧 (U)

【代謝】肝, 腎, 血漿でモノアミンオキシダーゼ (MAO) と catechol-O-methyltransferase (COMT) により代謝され, 不活性な代謝物となる (U) homovanillic acid とノルエピネフリンに代謝される (4)

【排泄】尿中に主として代謝物として 80%が回収 [24hr まで] (U) 尿中未変化体排泄率 3% (14) 微量 (U) 糞便中に排泄 (4)

【CL】4L/kg/hr (1) 3900~5500mL/min, 50~60mL/min/kg (15) 【非腎 CL/総 CL】85% (10)

【t_{1/2}】0.12hr (10,14) 成人: 血漿 約2min, 排泄 約9min (U) 20秒以下 (2) 平均9min [6.7~12min] (11) 【透析患者の t_{1/2}】20秒以下 (2)

【蛋白結合率】5~15% (1)

【Vd】0.89L/kg (11) 0.93L/kg (14) 【分布】広く体内に分布する; 血液循環門をほとんど通過しない. 投与量の約 25%はヒドロキシル化の行われる神経分泌小胞へ吸収されノルエピネフリンになる (U)

【MW】189.64

【透析性】透析されやすい特徴を有しているが, 全身クリアランスが大きく, 透析による蓄与は小さいと思われる (5)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない. 有効治療域 36~100ng/mL (16) 10~100ng/mL (14) 30~100ng/mL (15) 【OW 係数】低い (11) 【pKa】8.74, 10.3 (1)

【主な臨床報告】小児の敗血症ではエピネフリンに比べて死亡率を増大 (Ventura AM, Crit Care Med 43: 2292-302, 2015 PMID: 26323041)

【効果発現時間】5min 以内 (U)

【効果持続時間】10min 以下 (U)

【更新日】20240422

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません. 本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします. 最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます. すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。